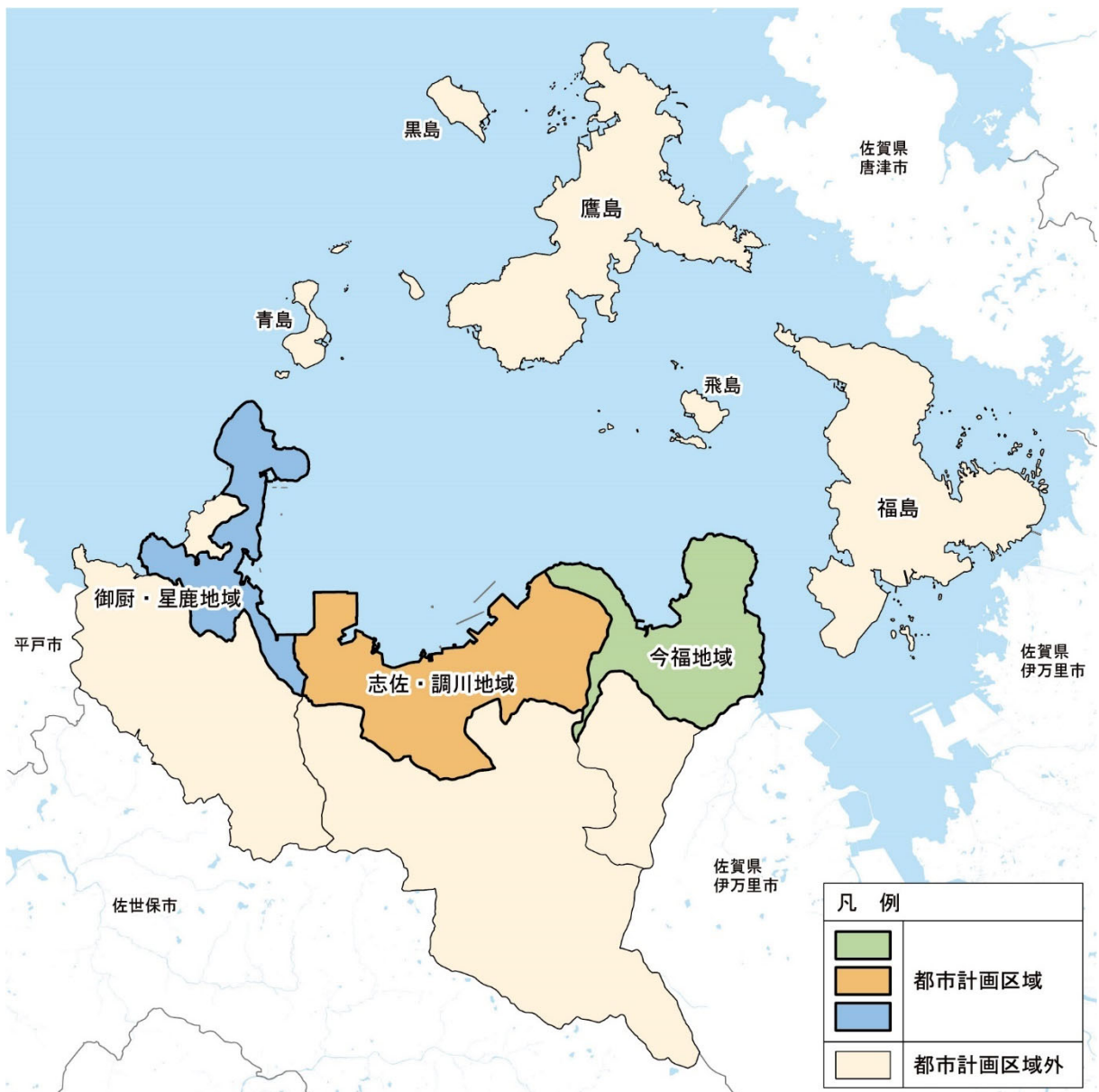


第 10 章 地域別構想

1 地域区分

地域別構想では、将来的なまちづくりの展望に立ち、都市計画区域を志佐・調川地域、御厨・星鹿地域、今福地域の3つの地域に区分し、各地域の特性に応じた整備方針を定めます。

- (1) 志佐・調川地域
- (2) 御厨・星鹿地域
- (3) 今福地域



地域区分図

2 地域別の特性と課題及び整備方針

(1) 志佐・調川地域

ア. 志佐・調川地域の主な特性

- 志佐地域は本市の中心市街地を含む地域で、商業・業務施設や市役所などの公共施設が多く立地しています。
- 中心市街地では空き店舗が増加しており、購買力の流出や活力の低下など、都市全体への影響も懸念されます。
- 志佐地域内では小規模の宅地造成が進み、住宅の立地が進行しています。
- 道の駅「松浦海のふるさと館」には毎日多くの人を訪れ、交流人口の拡大に寄与しています。
- 調川港東側に造成された水産加工団地には、水産関連企業が進出しています。
- 松浦魚市場は全国有数の水揚量を誇る産地市場であるとともに、飲食店や直売所を利用する一般客も多く訪れる観光地となっています。
- 火力発電所や遠洋旋網漁業の水揚げ基地は、松浦市の基幹産業の一つとなっています。
- 西九州自動車道松浦インターチェンジ及び調川インターチェンジが開設されています。
- 地域の公園として、不老山総合公園・松浦市民運動公園・松浦中央公園・つきの島公園・道の駅「松浦海のふるさと館」の緑地が整備されています。
- 釣り場としても人気があり、多くの釣り人が訪れる反面、ごみ問題や騒音問題を抱えています。
- 志佐地域の雨水幹線では水質汚濁や悪臭が発生していましたが、公共下水道の拡大に伴って改善がみられます。
- 地域南部には土砂災害警戒区域が広く分布しており、本地域を南北に貫流する志佐川、調川川沿岸においては洪水浸水想定区域が広がっています。

イ. 志佐・調川地域における住民ワークショップの主な意見

項 目		主な意見
地域の評価	活力・にぎわい	・「海のふるさと館」は集客力があるが、子どもの遊び場や休憩スペースが少ない ・松浦駅の北側など、駅周辺は人々が集まりにぎやか ・松浦駅周辺に駐車場が少なく店を利用しづらい ・商店街が衰退している ・魚市場周辺は施設が新しくなり活気がある ・調川港（つきの島公園含む）周辺は釣り客が多く、アジフライを求める観光客も多い ・空き家が増加している
	個性（環境や景観）	・自然が豊かで伊万里湾の景観が素晴らしい ・アジフライ目的の観光客は増えたが次の観光名所が少ない ・川や海は近いが遊べる場所が少ない
	暮らし	・西九州自動車道による利便性向上（志佐は今後期待できる） ・交通が便利な一方、交通事故が多い ・公共交通が不便 ・道路が狭く、通学路が危険 ・松浦駅周辺は生活利便施設が集まっていて便利 ・調川は日用品の店舗がなくなり買い物が不便になった ・本屋がなく、飲食店が少ない ・松浦市民運動公園は憩いの場だが、施設の維持管理が不十分 ・身近な公園はあるが、子どもが遊べる遊具のある公園が少ない
	安全・安心	・志佐川の河川工事が進み浸水被害が少なくなった ・地すべりの所があり、台風、大雨の後がこわい
将来イメージ		・商店街に活気があり、「食」・「遊」が充実している ・志佐を拠点に各地域の海のレジャー、山のレジャーが楽しめる ・商業・業務機能が充実し、観光・交流の中心となっている
まちづくりに望むこと		・自然環境の保全 ・中心部の商業をはじめとする都市機能の充実 ・水産関係等の工場誘致 ・国道 204 号沿いの店舗集積 ・「海のふるさと館」周辺の飲食・レクリエーション機能の充実 ・宿泊施設の増加 ・不老山総合公園の整備（アクセス路含む） ・身近な公園・広場の確保

ウ. 志佐・調川地域の主な課題

主な特性・住民ワークショップの結果を受けて志佐・調川地域の主な課題を以下に示します。

- ① 活力と魅力ある中心市街地の形成
- ② どこからでもアクセスしやすい公共交通の整備
- ③ 快適で安全な居住環境の形成
- ④ 企業誘致による就業機会の確保
- ⑤ 松浦港・調川港などの港湾施設及び機能の整備拡充
- ⑥ 自然環境の保全
- ⑦ 自然災害への備えを充足し、誰も取り残されることのない安全で安心できるまちづくり

エ. 志佐・調川地域の将来像

志佐・調川地域においては、都市基盤の重点的な整備を行い、中心部としてのにぎわい再生・ゆとりある住環境の形成を図ります。

また、西九州自動車道松浦インターチェンジ及び調川インターチェンジ開設を端緒とし、交流人口の拡大による地域の活性化を図ります。

さらに、松浦港や調川港周辺には本市の基幹的な産業が立地しており、産業・エネルギー・物流拠点としての土地利用を進めるとともに、公害対策等の都市環境整備に努め、安全な住環境の保全を推進します。

こうしたことを踏まえ、志佐・調川地域の将来像を以下のように設定します。

志佐・調川地域の将来像

にぎわいと交流を創造する

都市機能と居住環境が整備された地域

オ．志佐・調川地域の整備方針

(ア) 土地利用

- 全体構想で示した土地利用方針に従い、健全な都市の発展を促す土地利用の形成に努めます。
- 将来の都市化の動向を見極め、都市計画区域・用途地域などの見直しについて検討します。
- 松浦駅前や志佐商店街周辺を中心商業・業務地と位置づけ、利便性が高くにぎわいのある快適なまちづくりを進めます。
- 松浦駅の北側を、中心商業・業務地をサポートする副次的商業・業務地と位置づけ、中心商業・業務地と連携しながら、松浦市の中心地区としての機能強化を図ります。
- 西九州自動車道の整備効果により、調川インターチェンジ周辺や松浦インターチェンジ周辺の土地利用を検討します。
- 主要道路沿道については、店舗等生活サービス施設の誘導を図り、生活の利便性向上を進めます。

(イ) 市街地形成

- 志佐商店街を中心とした中心商業・業務地については、居住環境との調和を図りながら、都市機能の誘導と合わせて、活力と魅力ある中心市街地の形成に努めます。
- 商店街については、商店主や関係機関などとの協力のもと、だれもが安心して買い物や通行ができる歩行空間の形成を目指します。
- やすらぎのある中心市街地の形成により、住みやすく、暮らしやすいまちづくりを推進し、人口の誘導に努めます。
- 都市機能誘導区域及び居住誘導区域の設定を図り、本市の都市核となる中心市街地形成を目指します。

(ウ) 地域・都市交通

- 安全性・利便性向上のため、主要地方道佐世保日野松浦線及び主要地方道佐世保吉井松浦線の改良を推進します。
- 商店街内の狭い道路については、だれもが安心して買い物を楽しむことができる歩行空間の形成に努めます。
- 交通空白地帯の解消のため、各種交通機関との連携強化に努めます。特に上志佐地区の交通不便地区の解消に向け、デマンド交通などの新たな移動手段について、市内交通事業者と連携しながら取り組んでいきます。

(エ) 都市施設

- 不老山総合公園の公園施設の改修を実施するとともに、老朽化が進む松浦市民運動公園の改修及び適正な維持管理と利用促進に努めます。
- 既存公園の有効活用により気軽に利用できる身近な公園の充実に努めます。
- 生涯学習センター・文化会館は、多世代交流の場としての活用を推進するとともに、長寿命化型の維持管理に努めます。
- 公共下水道の整備により、生活環境・自然環境の改善に努めます。管渠整備完了後は下水道処理施設の維持管理に努めます。
- 公共下水道計画区域外では、合併処理浄化槽による生活排水の処理を進め、生活環境・自然環境の改善に努めます。
- 雨水幹線については公共下水道整備後も低地の雨水排水・浸水対策などのため、老朽化した護岸などの整備保全に努めます。

(オ) 都市環境

- 魚市場や工場などによる悪臭・騒音防止のため、各種法令に基づき、公害の防止に努めます。
- 工場や自動車などによる有害物質排出量の減少を図り、自然環境の保全に努めます。
- 生活雑排水、工場排水などによる河川や海の水質汚濁防止のため、下水道など污水处理施設の整備を進めます。
- 釣り客のマナーについて看板の設置等を行い、注意喚起を含めた呼びかけを行います。
- 空き家バンクの更なる利活用や、空家等の発生抑制のための情報発信等を積極的に行い、適正な空家等の管理に努めます。

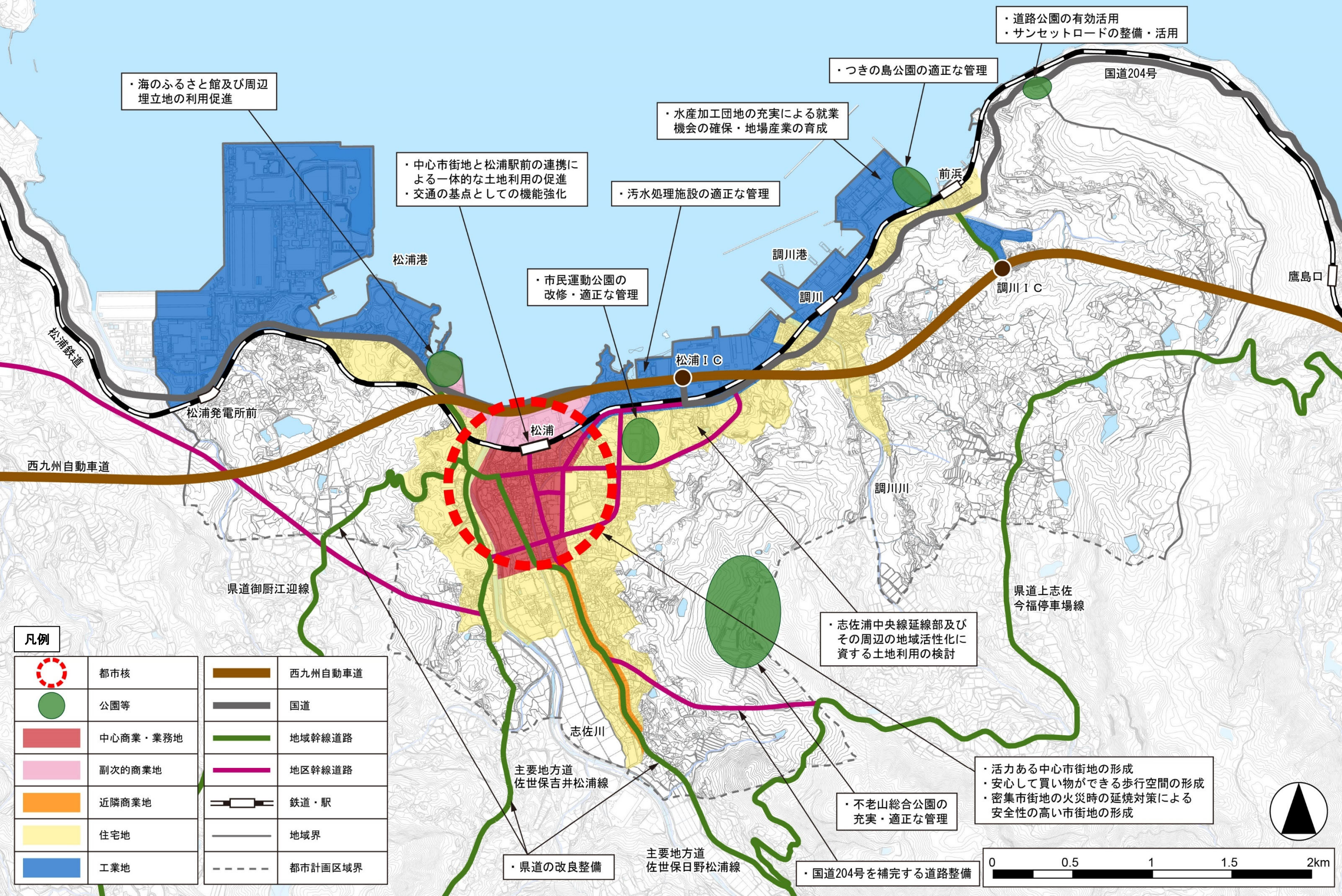
(カ) 都市景観

- 本市の中心市街地を形成する地域として、市街地における景観づくりを進めます。
- 国道 204 号のサンセットロードは、伊万里湾を眺望できることから、景観資源として環境の整備活用に努めます。
- 海岸部や河川沿岸においては、ふれあいのあるウォーターフロント景観の整備を図り、うるおいのある市街地づくりを推進します。
- 志佐立町の精霊船や淀姫神社の流鏑馬、田ノ平浮立、松山田浮立等の継承を支援し、まちづくりに活用していきます。

(キ) 都市防災

- 地域内では浸水想定区域・土砂災害警戒区域などが広く分布しているため、国・県と一体となりハード・ソフト両面での対策を進めます。
- 密集市街地については、火災時の延焼対策など、防災性を考慮した安全性の高い市街地の形成を目指します。
- 風水害の未然防止対策として側溝や排水路、雨水幹線などを整備し、市街地の浸水防止に努めます。

志佐・調川地域将来構想図



(2) 御厨・星鹿地域

ア. 御厨・星鹿地域の主な特性

- 御厨地域は、本市の西部に位置する地域で、御厨港から御厨駅に向かって住宅地が広がっています。住宅地周辺の多くは田畑となっており、自然環境豊かな地域となっています。近年、都市計画区域外の一部において、住宅の立地が増加しています。
- 星鹿地域は、御厨地域の北部に位置する半島で、海岸線に沿って住宅地が広がっており、半島の大部分は田畑となっています。
- 全体構想においてレクリエーションエリアに位置づけられている大崎海水浴場が存在しています。夏季シーズンはレジャーでにぎわっている反面、ごみ問題や漂流物の問題も抱えています。
- 釣り場としても人気があり、多くの釣り人が訪れる反面、ごみ問題や騒音問題を抱えています。
- 下田港、岳崎港、星鹿漁港、御厨港があり、沿岸漁業やハマチ・トラフグなどの養殖が盛んな地域です。
- ブドウやメロン、アスパラガスなどの生産が多く、農業が盛んな地域です。
- 御厨港からは、青島・鷹島・黒島への航路があり、地域間の生活を支える主要な航路となっています。
- 他地域と比べて土砂災害区域や浸水区域が少なく、災害リスクが小さい特徴があります。

イ. 御厨・星鹿地域における住民ワークショップの主な意見

項 目		主な意見
地域の評価	活力・にぎわい	・水産業が盛んである ・ブドウ、メロンの生産地 ・遊休農地、耕作放棄地が増えた ・空き家が増えた
	個性（環境や景観）	・自然が豊かで四季折々の景観が楽しめる ・大崎海水浴場はレジャーでにぎわっている ・下田海水浴場や城山からの景観がよい ・海が身近にあり、海水浴等自然にふれあえる機会が多い ・星鹿半島全体が魅力（城山からの眺め、元寇遺跡等） ・釣り場が多いが、ゴミ投棄も多い ・地元の野菜、米、魚が美味しい
	暮らし	・県道星鹿港線が整備され通行しやすくなった ・国道 204 号に歩道がなく、他も狭い道路が多い ・バス便が少なく、特に土日は便がない ・食料品、日用品の店舗や銀行窓口がない ・御厨港埋立地の公園整備に期待している ・身近な公園がほぼない ・静かで暮らしやすい環境
	安全・安心	・法面の整備により土砂崩れの心配がかなり減った ・空き家が多く、雑草などによる環境の悪化や火災等が不安
将来イメージ		・自然、歴史、景観を活かしている ・農業・漁業が活性化している ・海辺で多くの人がにぎわい、交流している
まちづくりに望むこと		・御厨駅及び御厨港周辺的生活利便施設の充実 ・下水道の早期整備 ・星鹿城山展望台への通行止めになっている道路の整備 ・星鹿半島を周遊する観光ルートの整備 ・危険な空き家対策 ・観光客向けのトイレ、休憩所、駐車場等の整備

ウ. 御厨・星鹿地域の主な課題

主な特性・住民ワークショップの結果を受けて御厨・星鹿地域の主な課題を以下に示します。

- ① 道路・公園・污水处理施設などの都市基盤整備による快適で安全なまちづくり
- ② 国県道沿道を活かした生活利便性の高いまちづくり
- ③ 農・漁村環境及び山と海の自然環境の保全
- ④ 自然災害への備えを充足し、誰も取り残されることのない安全で安心できるまちづくり

エ. 御厨・星鹿地域の将来像

御厨・星鹿地域においては、盛んな農業・漁業の振興に努めるとともに、自然環境との調和を図りながら都市基盤の整備を行い、快適な住環境の形成を図ります。

また、御厨港周辺や国道 204 号の沿道を日常購買店等の立地を促す近隣商業地とし、周辺住民にとって利便性の高いまちづくりを進めます。

さらに、星鹿城山や大崎海水浴場などの整備による地域の個性創出により、魅力ある良好な景観の形成を図ります。

こうしたことを踏まえ、御厨・星鹿地域の将来像を以下のように設定します。

御厨・星鹿地域の将来像

快適な住環境と

農・漁村景観が調和した地域

オ．御厨・星鹿地域の整備方針

（ア）土地利用

- 全体構想で示した土地利用方針に従い、健全な都市の発展を促す土地利用の形成に努めます。
- 埋立地や住宅が増えている地区などは、将来の都市化の動向を見極め、都市計画区域・用途地域などの見直しについて検討します。
- 御厨商店街周辺の住宅地については、その周辺にある農地等との調和に配慮し、安全で快適な住環境の形成を目指します。
- 都市基盤の整備を推進し、安全で快適な住環境の形成を図ります。
- 御厨港周辺及び国道 204 号沿道については、日常生活に必要な商業施設等の立地を促します。
- 農地や山林については、全体構想における土地利用方針との調整を図りながら、秩序ある整備・保全に努めます。

（イ）地域・都市交通

- 国道 204 号と松浦鉄道路線は、その間隔が狭く、乗り入れ部が狭くなっている危険な踏切が多いため、安全性向上を目指した改良を関係機関と協力のもと推進します。
- 民間交通事業者との協働を図り、交通手段の少ない地域や交通弱者の解消に努めます。
- 交通空白地帯の解消や、松浦鉄道と路線バスなどの公共交通の最適化を図るなど、通勤・通学や日常の移動において市民の生活を支え続けられる公共交通の維持に努めます。
- 御厨港の利便性向上を目指した周辺環境の整備に努めます。

（ウ）都市施設

- 星鹿城山などの資源を活かし、個性あるまちづくりを進めます。
- 御厨港埋立地については、子どもが遊べる身近な公園として整備を推進するとともに、高齢者の活動の場などを含め、多世代交流ができる公民館の整備を行います。
- 合併処理浄化槽による生活排水の処理を進め、生活環境・自然環境の改善に努めます。

(エ) 都市環境

- 悪臭防止法に基づき事業者への指導や悪臭防止策の実施を促し、悪臭公害の防止に努めます。
- 釣り客のマナーについて看板の設置等を行い、注意喚起を含めた呼びかけを行います。
- 空き家バンクの更なる利活用や、空家等の発生抑制のための情報発信等を積極的に行い、適正な空家等管理に努めます。

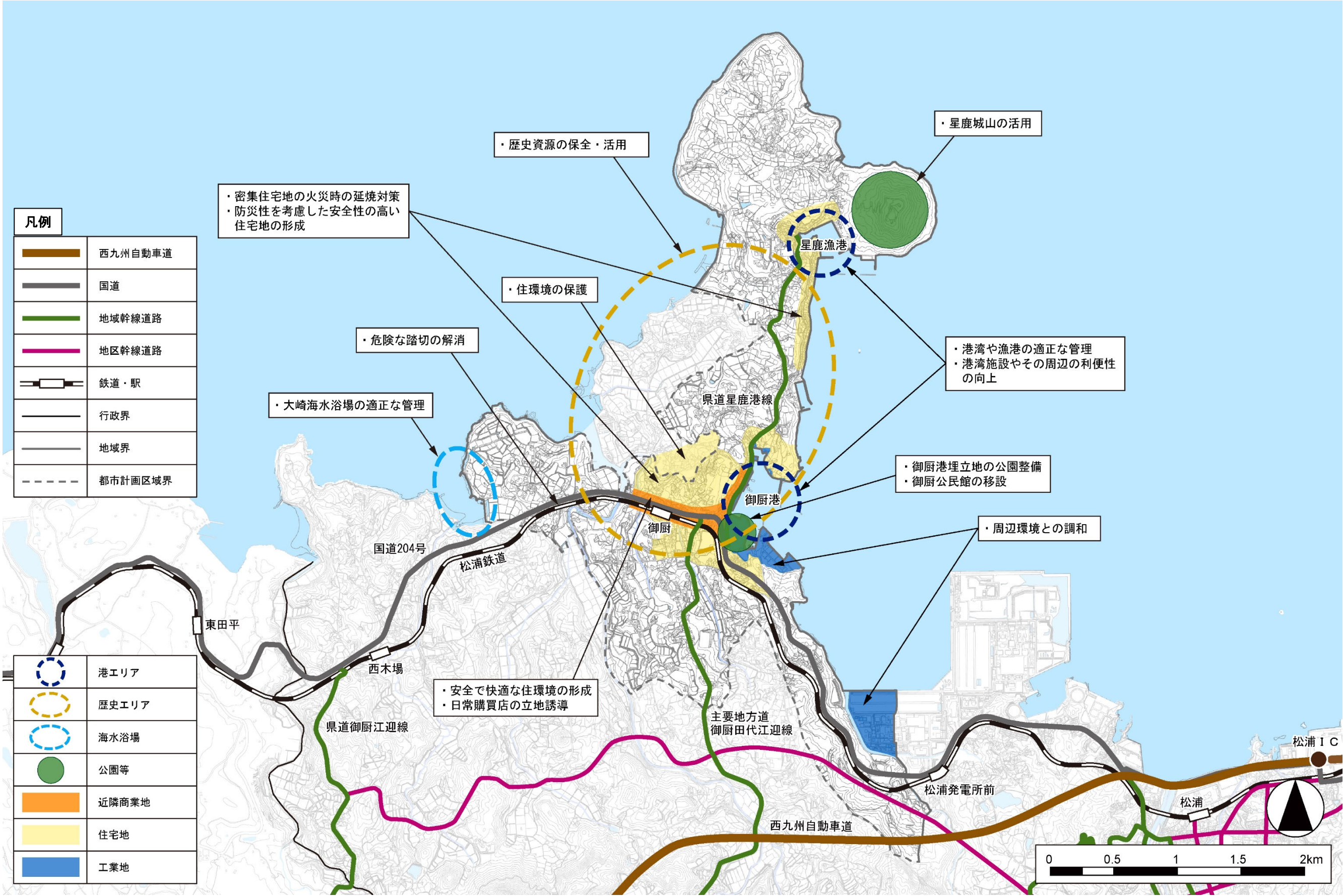
(オ) 都市景観

- 漁村地域や田園地域については、独自の風景を活かした景観を維持するため、空家等の対策と合わせ、遊休農地の発生防止に努めます。
- 大崎海水浴場については地元の協力のもと適正な管理・機能充実に努めます。
- 地域の特徴を継承する素材や要素を発掘し、市民とともに魅力ある良好な景観を形成していくための取組を推進します。

(カ) 都市防災

- 密集住宅地などについては、火災時の延焼対策など、防災性を考慮した安全性の高い住宅地の形成を図ります。
- 地域内の浸水想定区域・土砂災害警戒区域では、国・県と一体となりハード・ソフト両面での対策を進めます。
- 地震や津波災害からまちを守り、減災化を図る都市づくりを進め、災害による被害を受けやすい地域や建物等への事前対策を施し、自然災害に対する脆弱性を補う都市づくりを進めます。

御厨・星鹿地域将来構想図



(3) 今福地域

ア. 今福地域の主な特性

- 本市の東部に位置し、農地と山林が大部分を占める自然環境豊かな地域です。
- 国道 204 号が東西に走っており、基幹的な道路となっています。
- レクリエーションエリアにも位置づけられており、季節によって海水浴場としても楽しめる「ぎぎが浜」や、花見やハイキングが楽しめ、伊万里湾を一望できる「四季の森石倉」が整備されています。
- 「松浦党梶谷城跡」など数多くの文化財が存在しています。
- 釣り場としても人気があり、多くの釣り人が訪れる反面、ごみ問題や騒音問題を抱えています。
- 今福港が整備されており、飛島・鷹島への航路があり、地域間の生活を支える主要な航路となっています。
- 西九州自動車の整備が進行中であり、今福インターチェンジが設置され、交通の利便性が向上しています。

イ. 今福地域における住民ワークショップの主な意見

項 目		主な意見
地域の評価	活力・にぎわい	・国道沿いなどの空き地・空き店舗により活力がない ・釣り客が多く訪れているのはよいが、ゴミが散乱している
	個性（環境や景観）	・海と山と歴史がある ・梶谷城跡など、歴史的な資源の活用が不十分 ・ぎぎが浜の眺望がよく、夕日がきれい ・四季の森石倉は風光明媚で伊万里湾の眺望がよい
	暮らし	・西九州自動車道により利便性が向上した ・車がないと交通の便が悪い ・道路や歩道が劣化している ・日用品の店舗がなくなり買物が不便 ・保育所や小中学校施設が整っている ・環境がよく住みやすい
	安全・安心	・自然災害が起きていない ・空き家が多いので、犯罪や火事が心配
将来イメージ		・海、山の美しさと歴史を活かしている ・地元の食や海、歴史文化、スポーツなどが楽しめる ・身近な店舗等があり、自然災害が少なく住みやすい
まちづくりに望むこと		・商店街の活性化 ・観光振興と交流人口の増加 ・空き家・空き店舗対策 ・自然環境の保全 ・道路の維持管理、歩道の整備 ・下水道、雨水排水路の整備 ・生活利便施設の充実

ウ. 今福地域の主な課題

主な特性・住民ワークショップの結果を受けて今福地域の主な課題を以下に示します。

- ① 海、山の美しさと文化財が残る歴史を活かしたまちづくり
- ② 商店街などの活性化等による利便性の高いまちづくり
- ③ 西九州自動車道の開通による地域間アクセス性向上により、他都市との交流が活性化するまちづくり
- ④ 公共交通の充実や、高齢者などが利用しやすい都市施設のあるまちづくり
- ⑤ 自然災害への備えを充足し、誰も取り残されることのない安全で安心できるまちづくり

エ. 今福地域の将来像

本地域においては、多くの文化財を活かした個性ある「歴史の町、今福」のまちづくりを進めます。

こうしたまちの個性を背景に、人口減少や少子高齢化している地域の現状を踏まえ、空き家、空き店舗対策なども考慮しつつ、西九州自動車道今福インターチェンジ開設を端緒とし、地域の活性化と定住人口の増加・確保方策と一体となった整備を実施します。

また、国道沿道等において日常生活に必要なサービス機能の充実に努めるとともに、豊かな自然環境との調和を図りながら、雨水排水路の整備などの都市基盤の整備に努め、安全で快適な住環境の形成を図っていくこととし、将来像を以下のように設定します。

今福地域の将来像

豊かな歴史と美しい自然を活かした

魅力的で快適な地域

オ. 今福地域の整備方針

(ア) 土地利用

- 西九州自動車道今福インターチェンジ周辺においては、地域活性化のための土地利用を行います。
- 全体構想で示した土地利用方針に従い、健全な都市の発展を促す土地利用の形成に努めます。
- 近隣商業地として位置づけられている国道 204 号沿道においては、日常生活に必要な商業・サービス施設等の立地を誘導します。
- 東部工業団地の未分譲地への企業誘致を図り、就業機会の確保・地場産業の育成に努めます。
- 地域南部の農地や山林については全体構想における土地利用方針との整合を図りながら、秩序ある整備・保全に努めます。

(イ) 地域・都市交通

- 志佐・調川地域との連絡性強化のため、県道上志佐今福停車場線の改良を推進します。
- 交通空白地帯の解消や、松浦鉄道と路線バスなどの公共交通の最適化を図るなど、通勤・通学や日常の移動において市民の生活を支え続けられる公共交通の維持に努めます。
- 今福港の利便性向上を目指した周辺環境の整備に努めます。

(ウ) 都市施設

- 「四季の森石倉」の適正な管理に努めるとともに、保安林などの有効な活用を推進します。
- ぎぎが浜については地元の協力のもと適正な管理・機能充実に努めます。
- 気軽に利用できる身近な公園の維持管理に努めます。
- 松浦市野球場や東部交流センターなどは、子どもから大人まで集える場所として維持管理に努めます。
- 合併処理浄化槽による生活排水の処理を進め、生活環境・自然環境の改善に努めます。

(エ) 都市環境

- 悪臭防止法に基づき事業者への指導や悪臭防止策の実施を促し、悪臭公害の防止に努めます。
- 釣り客のマナーについて看板の設置等を行い、注意喚起を含めた呼びかけを行います。
- 空き家バンクの更なる利活用や、空家等の発生抑制のための情報発信等を積極的に行い、適正な空家等管理に努めます。

(オ) 都市景観

- 松浦党梶谷城跡をはじめとした豊富な歴史・文化資源を活かし、歴史・文化に基づいた景観整備を進めるとともに、これらの文化資源の維持保全を進めます。
- 国道 204 号のサンセットロードは、伊万里湾を眺望できることから、景観資源として環境の整備活用に努めます。

(カ) 都市防災

- 密集住宅地については、火災時の延焼対策など、防災性を考慮した安全性の高い住宅地の形成を図ります。
- 地域内では浸水想定区域・土砂災害警戒区域などが広く分布しているため、国・県と一体となりハード・ソフト両面での対策を進めます。

今福地域将来構想図

